

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

桜はまだか

温かい風が吹いてくると
桜の花はまだかと
桜の木を見上げます。
あの、つんととがった花の芽が
ふっくらうす桃色に
ふくらんでいるのではないかと。

桜の花の房が
あの小さな花の芽から
こぼれ出てくる日が
待ち遠しい。



春日小学校PTA

掃除とは、ホコリという プライドを集める作業

6年生は、14日の卒業に向かって着々と歩み出しています。

5日は、6年生の「愛校作業」でした。6年間お世話になった学校への恩返しです。トイレ、階段、昇降口、玄関、各教室の配膳台とみんなが持ち場を分担して作業進めます。

作業に入る前の6年生担任の一言。
「プライドという言葉をお忘れなさい！」
ふと以前出会った言葉を思い出しました。

「掃除とは、ホコリというプライドを集める作業である。」

この言葉は、石川県に住む男性が、中学生時代、掃除をさぼっていた時に担任の先生から言われた言葉だそうです。

愛校作業が始まりました。6年生の子どもたちは黙々とホコリ(誇り)を集め、そして、磨き上げています。

春日小学校の6年生という誇りが
6年間お世話になった学校の
ホコリを集めた。
集めたホコリの数だけ
卒業を間近にした
彼らの誇りが輝いた。

先日、本年度最後のPTA運営委員会がありました。会の終わりに、それぞれの委員長さんたちから一言ずつ感想をいただくことになりました。

聞いていて、心地よいというか、胸が熱くなりました。

「初めは、何も分からなかったのですが、委員のみなさんがとてもよく協力してくださって、すごく嬉しかったです。本当にやってよかったって思っています。」
「くじで当たった委員長でしたけど、やってよかったなと思っています。みなさんが本当によく協力して下さいまして……。」

「初めはどうしようと思ったのですが、とてもいい経験をさせてもらいました。来年度はサポーターとして、必ずお手伝いをしていきます。」

きっと大変だったと思います。でも、やった者にしか分からない充実感があつたのだと思います。周りの協力のありがたさや仕事のやりがいを感じながらこの1年だったのだと思います。

お一人お一人の言葉が感謝にあふれていて、心から春日小学校のPTAは素敵だなあって思いました。

大切な自分の時間を割いて協力して頂いたみなさんのご努力に、心から感謝申し上げます。そして、来年度もよろしくお願ひします。